

平成25年5月24日

より安全に、更なるサービスの向上を目指して

平成25年度 鉄道事業設備投資計画

投資額101億円

京成電鉄では、平成25年度に鉄道事業で101億円の設備投資を実施し、引き続き安全輸送の確保やお客様サービスの向上に努めてまいります。

- ・ 押上線押上～八広間上り線を高架化します。
- ・ 京成曳舟駅上りホームが高架上の新ホームで営業を開始します。
- ・ 耐震補強工事やATS（自動列車停止装置）機能向上工事等、安全対策工事を引き続き推進します。
- ・ 省エネルギー車両3000形（8両1編成）を新造します。
- ・ 京成八幡駅リニューアル工事が完成します。
- ・ 京成八幡駅・学園前駅にエレベーターを設置します。



上り線が高架になる京成曳舟駅

平成25年度の鉄道事業設備投資計画の概要は別紙のとおりです。

(別紙)

平成25年度 鉄道事業設備投資計画について

1. 投資額 101億円

2. 概要

(1) 安全対策の強化

① 押上線連続立体交差事業の推進

- ・墨田区内連続立体化工事（押上～八広間1.5km）

押上～八広間の上り線を高架線へ切替えます。これに伴い京成曳舟駅上りホームは高架上の新ホームでの営業を開始し、エレベーター・エスカレーターを設置します。



上り線が高架になる京成曳舟駅



工事が進む京成曳舟駅新ホーム

- ・葛飾区内連続立体化工事（四ツ木～青砥間2.2km）については、引き続き用地買収等を実施し、事業の推進を図ります。

② 災害対策の推進

- ・大規模地震への対策強化を図るため、駅部（京成八幡、京成臼井、京成佐倉、京成千葉）及び高架橋、トンネルや変電所等の耐震補強工事を実施します。
- ・集中豪雨などの自然災害に備え、法面の補強等を実施します。

③ A T S（自動列車停止装置）の機能向上

列車の安全運行をより確実なものとするため、今年度も引き続き、保安度の高いデジタルA T Sへの更新を進めます。

④ 車両新造

電力回生システムを備えた、省エネルギー車両の3000形を1編成8両導入します。この車両の車内には、節電効果の高いLED照明を採用します。また、車いすスペースを1編成あたり2か所設置するほか、車内ドア上に液晶ディスプレイ（LCD）を設置し、4か国語（日・英・中・韓）で駅名等の案内を表示します。



新造する3000形車両

⑤ 踏切の安全対策の強化

踏切事故を未然に防止するため、自動障害物検知装置の更新（3箇所）、踏切支障報知装置の新設（8箇所）等を実施します。これにより、踏切支障報知装置は全ての踏切への設置が完了する予定です。



踏切支障報知装置

⑥ 駅ホームの安全対策の強化

視覚に障害をお持ちのお客様が駅ホームから転落する事を防止するため、ホーム内側部分に線状の突起を付け、ホームの内外を知らせる内方線付点状ブロックを5駅（堀切菖蒲園、京成八幡、京成大久保、志津、京成千葉）に設置します。



内方線付点状ブロック

(2) サービスの向上

① エレベーターの設置

全てのお客様に駅をより安全・快適にご利用いただけるよう、駅施設のバリアフリー化を進めています。今年度は、京成八幡駅と学園前駅にエレベーターを設置します。

② 駅施設のリニューアル

昨年度着手した京成八幡駅のリニューアルが完成します。お客様用トイレをコンコースに移設し、併せて多機能トイレを新たに設置するほか、フルカラータイプの行先表示器の設置や、案内サインのリニューアルを行います。また、改札口にはウォークインタイプのお客様ご案内カウンターを導入し、様々なお問い合わせに対応致します。そのほか、八千代台駅でもお客様用トイレのリニューアルを実施します。



リニューアル後の京成八幡駅内部（イメージ）

③ 異常時案内ディスプレイの設置

異常時の運行状況や振替輸送をわかりやすくご案内するため、異常時案内ディスプレイを日暮里駅、空港第2ビル駅に設置します。

④ 駅構内店舗の新設

駅の利便性向上のため、町屋駅、京成八幡駅構内に店舗を新設します。

(3) 環境対策等

① 環境にやさしいクーラーへの交換推進

車両のクーラー更新に伴い、冷媒をオゾン層への影響が少ない種類のフロンに交換します。

② 駅・車内照明のLED化

さらなる環境負荷の低減を図るため、リニューアルを行う京成八幡駅コンコース、八千代台駅お客様用トイレ、並びに本年度新造する3000形車両の車内照明に、節電効果の高いLED照明を採用します。

以 上